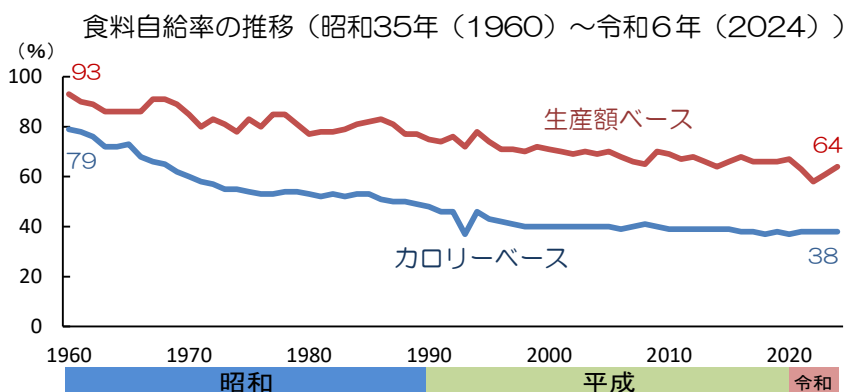


食料自給率

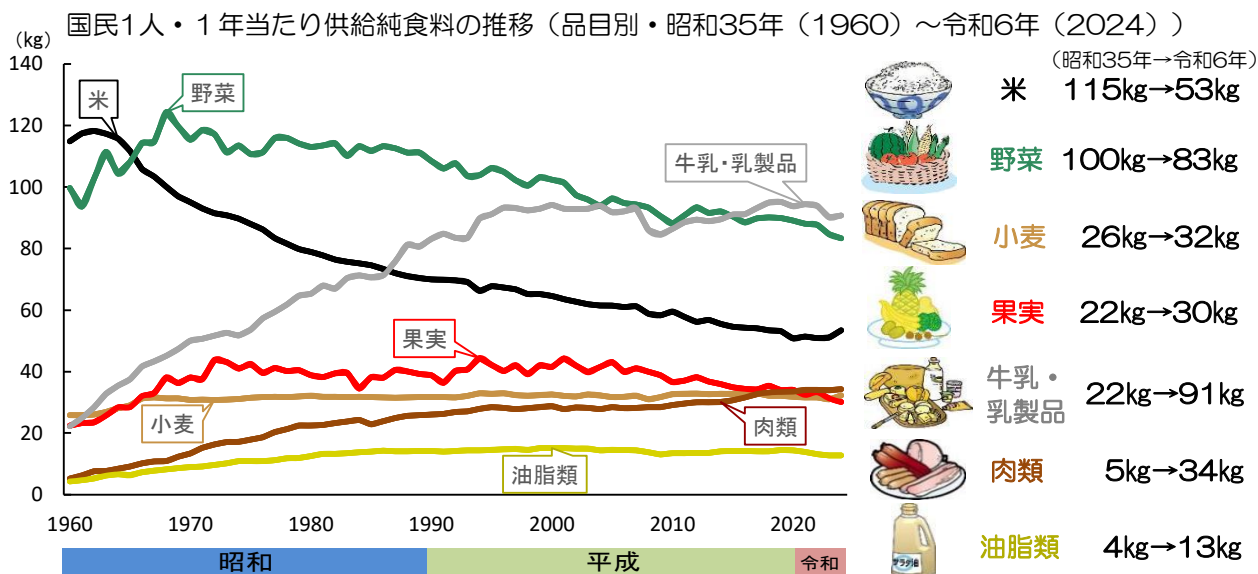
日本の食料自給率（カロリーベース）は38%

日本の食料自給率は、統計を始めた1960年から米の消費が減少する一方で、牛乳・乳製品、肉類や油脂類の消費が増大する等の食生活の変化により、長期的には低下傾向が続いてきました。2000年代（平成12年）以降は概ね横ばい傾向で推移しています。
令和6年度はカロリーベースで38%で、前年度と同じとなっています。

日本の食料自給率、国民1人・1年当たり供給純食料の推移

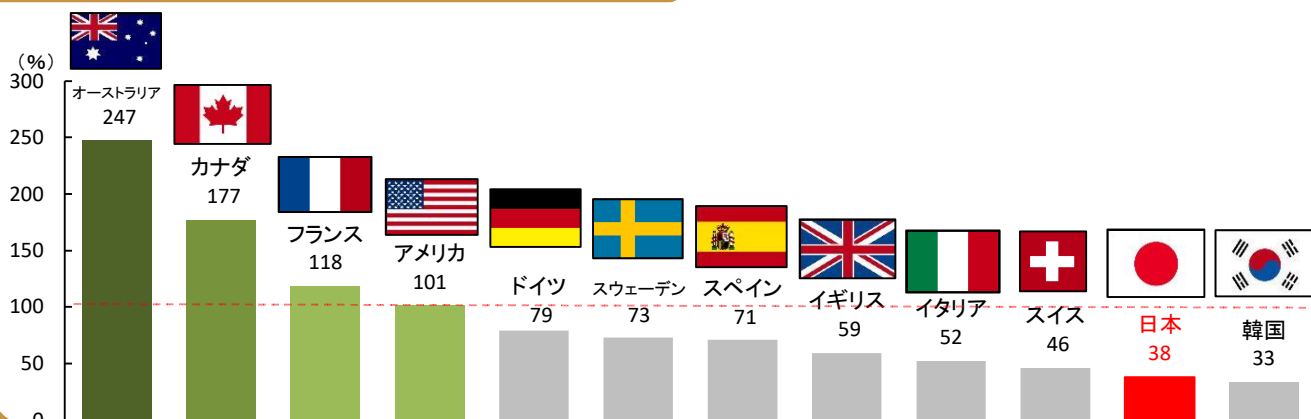


1. 生産額ベースは、供給される食料の生産額（食料の国内消費仕向額）に対する国内生産の割合です。
2. カロリーベースは、栄養価の指標である熱量（カロリー）を基本に、総供給熱量に対する国内生産の割合です



資料：農林水産省『食料需給表』（令和6年度は概算値）

諸外国の食料自給率（カロリーベース）



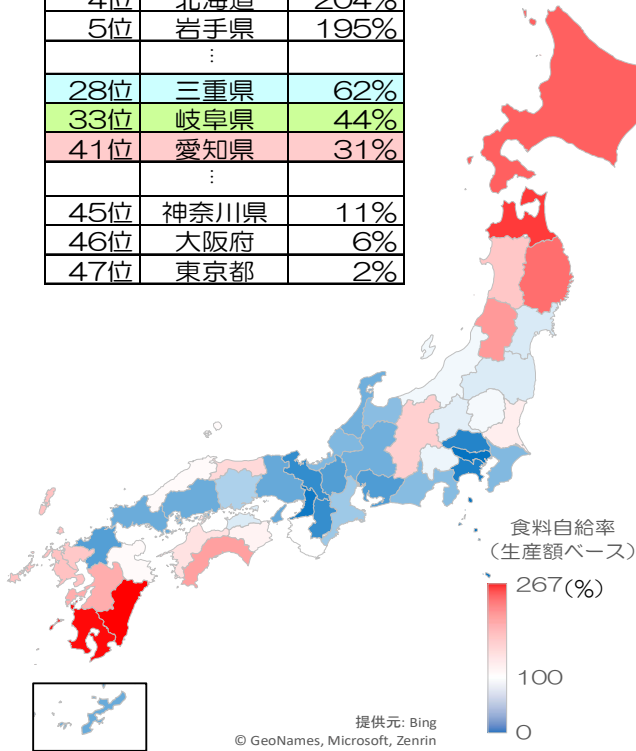
資料：農林水産省『食料需給表』

注：自給率データは日本は2024年（概算値）、その他の国は2022年試算値を使用しています。

都道府県の食料自給率（生産額ベース、カロリーベース）（令和5年度）

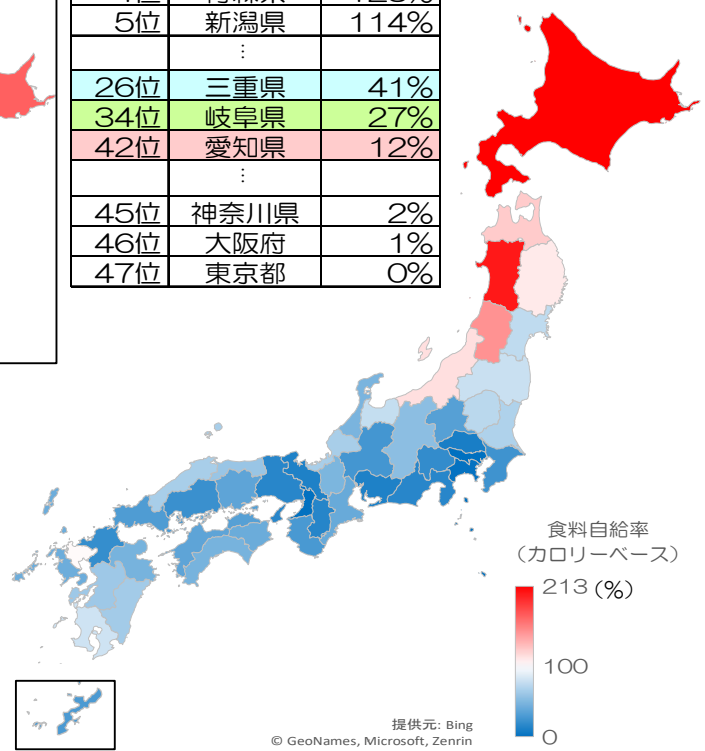
生産額ベース

順位	都道府県名	自給率
1位	宮崎県	267%
2位	鹿児島県	261%
3位	青森県	229%
4位	北海道	204%
5位	岩手県	195%
...	...	...
28位	三重県	62%
33位	岐阜県	44%
41位	愛知県	31%
...	...	...
45位	神奈川県	11%
46位	大阪府	6%
47位	東京都	2%



カロリーベース

順位	都道府県名	自給率
1位	北海道	213%
2位	秋田県	202%
3位	山形県	148%
4位	青森県	123%
5位	新潟県	114%
...	...	...
26位	三重県	41%
34位	岐阜県	27%
42位	愛知県	12%
...	...	...
45位	神奈川県	2%
46位	大阪府	1%
47位	東京都	0%



※都道府県別食料自給率の計算方法は農林水産省Webページを参照ください

資料：農林水産省『都道府県別食料自給率』（令和5年度は概算値）

食から日本を考える。ニッポンフードシフト

日本の食の未来を守るために、消費者と生産者が一体となって自分たちの課題と捉え、国産の農林水産物を積極的に選択するといった行動変容につなげていく必要があります。

そのため、「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」をスローガンとする国民運動を展開し、食と環境を支える農林水産業・農山漁村への国民の理解醸成を図るための情報発信等に官民協働で取り組んでいます。



NIPPON FOOD SHIFT公式ホームページでは、日本の「食」を考える様々なコンテンツがありますので、ぜひご覧ください。

運動趣旨に共感頂ける方は「推進パートナー」として登録することもできます。



知ってる？日本の食料事情
[農林水産省ホームページ](#)

[NIPPON FOOD SHIFT
公式ホームページ](#)



食料自給率の話
[東海農政局ホームページ](#)

